

美味しくいただきマス！ マスを使ったレシピの紹介



【マスの塩焼き】①釣ったマスはその場で内臓をとっていねいに洗う。②マス全体に塩をまぶして串を打ち、河原で塩焼きにする。焼きたては皮が香ばしく身が柔らかくてとても美味です。



【マスのムニエル】①塩・こしょうを振ったマスの切り身に薄力粉をまぶす。②フライパンにオリーブ油を熱し、①を焼いて皿に取る。③②のフライパンにシメジ、バター、しょうゆ、白ワインを入れさつと炒めたら、②にかけて完成。



【マスのホイル焼き】①アルミホイルにバターを塗り、茹でて輪切りにしたジャガイモをしく。②①の上に塩・こしょうを振ったマスの切り身をのせ、その上に味噌、マヨネーズ、酒少々を混ぜて塗る。③②にピザ用チーズをのせてアルミホイルで包み、オーブントースターで20～30分焼く。仕上げにパセリをふる。



エサ専用釣り場



ルアー・フライ専用釣り場



山本 のゆり

いながわ 特派員報告



田野 香織

新年を迎え早や一カ月が過ぎようとしています。今回私たちは、今が旬のマス釣りやマスを使った料理に挑戦しました。身近で釣りを楽しめる「北田原マス釣り場」を紹介します。

北田原マス釣り場

マス釣り場は、猪名川上流の自然渓流を利用したニジマスの管理釣り場です。
エサ専用釣り場とルアー・フライ専用釣り場があります。河原が広いので、テントを張ったり、家族でバーベキューも楽しめます。

清流猪名川でマス釣りに挑戦！

いざ、マス釣りに挑戦！

あいにくの悪天候、おまけに釣経験の殆どない特派員のふたりです



が、今回は4～5mの釣り竿、7号針を使用しエサ釣りに挑戦。
釣り針にイクラを4粒ほど引っかけて、マスのいそうな所へそっと糸を垂らします。

ウキが沈んだら、竿先を上にしやくりあげて合わせます。マスは空腹だったのか、二人の竿にかわがわる食いつきました。私たちが初心者でも40cm近い型のいいマスも釣れ、力強い引きを楽しめ、予想外の釣果をあげて大満足でした。

漁業組合の西田さん・辰巳さんに聞きしました

◆北田原マス釣り場の特徴や釣りを楽しむコツは？

「うちの特徴はマスが大きいのと持ち帰り制限がないため、エサなどになれていないマスが多く、釣れやすいことでしょうか。イワナやブラウントラウトも放流しています。」

釣りを楽しむにはまず防寒対策が大切です。釣り竿やエサは事務所で販売していますが、持参される場合は4.5～6mく

らいの長竿がおすすめです。

他の釣り堀などは竿のサイズの規制があったりしますが、うちは特にありません」

◆ここでお仕事されて良かったこと、反対に大変なことは？

「子どもの時にここへ親に連れてきてもらったという人が大人になってまたここへ来てくださったり、お客さんが大きなマスを釣って喜んで帰られたり、そういうことが嬉しいんです。これが大変！といえば、雨の日がちょっと大変ですね」

営業期間などのご案内

◆期間 10月末～5月中旬頃
◆時間 午前7時～午後5時
◆料金 【1日】（放流あり）大人（中学生以上の男性）3500円、女性・子ども2000円【半日】（12時以降、放流なし）大人2000円、女性・子ども1500円
◆その他 釣り竿・エサの販売・無料駐車場あり
☆3月9日（日）恒例の猪名川マス釣り大会を開催！事前予約不要・どなたでも当日参加OK！
☆毎月20日はニジマスの日！抽選で猪名川産のお



米5kgが当たるイベントを開催
☆マス釣り場の「遊漁承認書」一枚につき、道の駅そばの館のそばメニュー100円引きの特典あり！
◆問合せ 猪名川上流漁業協同組合北田原支部北田原マス釣り場（北田原字寺前425・2、☎766・2208）

釣り人さん、いらっしやい！

某日、この日は朝からの雨にも関わらず釣り場にいられていた釣り人の皆さんにお話しを伺いました。

◆「僕たちは会社の同僚で、年5回ほどこの釣り場に来ています。釣ったマスは持ち帰って刺身や天ぷらにして食べていますよ」「神戸市上田さん（写真右）・小谷さん」



◆「友だちに誘われてこの釣り場を知りました。今朝は6時くらいに着きました。ここは自然を満喫できるところがいいですね」「池田市 西野さん」

◆「4年ほど前にこの釣り場の看板を見て知り、以来年7回ほど来ています。今日は息子と来ました。このマスは大きくておいしいです。塩焼きやホイル焼きにして食べますよ。河原で釣ったマスを料理する

こともできて、火が使える釣り場はありがたいです」「【川西市 男性】
◆「ここに来るようになってもう5年かな。実は最初、管理の釣り場にちよつと抵抗があった。でもこのマスは他と全然違います。マスが大きいし、放流量も多い。それにこの田舎のアウトホームな雰囲気がいいですね」「茨木市 男性」

編集後記
「この魚、お母さんが釣ったの？すごい！」と子どもに褒められすつかりご満悦。
猪名川町にはまだまだ私たちの知らない素敵な所がありました。皆さんもぜひ一度マス釣り場へどうぞ。



昔ながらの寒天づくり



▲▶阿古谷地内の井谷寒天製造所では厳しい寒さの中、早朝から昔ながらの天日干しによる糸寒天づくりが行われています。ここで製造された糸寒天は、主に京都の間屋へ出荷されていますが、道の駅などでも購入できます。

とんど焼きに無病息災を祈る

▼▶町内各地でとんど焼きが行われました。

広根地区では1月12日午前7時に子ども達が高さ約20mのとんどに点火し、正月のしめ縄飾りや書き初めなどが燃やされ、参加者は燃えあがる炎に無病息災を祈りました。



江戸時代から元服を伝える「三矢の儀式」

▲1月6日、民田地区の民田八幡神社で江戸時代初期から伝わる新年と長男の元服を祝う「三矢の儀式」（町指定無形民俗文化財）が執り行われました。

2本の矢は裏に鬼と書かれた的に向けて射られ、3本目の矢は今年の恵方の東北東の空に放たれました。

白金小学校で震災体験を講演

▼1月16日、白金小学校で阪神・淡路大震災を描いた絵本「はるかかのひまわり」の著者の加藤いつかさんを迎え震災体験の講演が行われました。家の倒壊などの震災の生々しい体験を聞いた子ども達は、「今後震災が起こったら、加藤さんのように近所の人たちと助け合いたい」などと感想を述べました。



祝 成人式で二十歳の誓い



成人代表のあいさつ



◀▼1月13日、文化体育館で「平成26年成人式」が開催されました。今年の新成人323人（男155人、女168人）のうち、289人が出席しました。

委員長の高井直人さんを中心に新成人自らが実行委員として3ヵ月前から企画した式典では、成人代表の言葉として、実行委員の宮東一平さんと四方志保さんが「私たちに与えられた責任を自覚し、一人前の大人と認められるよう己を磨き、社会の一員として活躍していきたいと思います。」

私たちはこの日を忘れることなく、新成人として日々努力していきます」と新成人の決意を述べました。



実行委員長のあいさつ

スマホの使い方、見直そう！



◀▼1月18日、町青少年健全育成推進会議による「第2回青少年フォーラム～INAGAWAスマホサミット～」が開催されました。

町内の高校生たちが考えた「ネット・スマホ」に関するアンケートを、町内全ての中学校と猪名川高校の生徒全員を対象に実施。その結果をもとに、町内の中高生総勢24名が3つのグループに分かれ「スマホ使用に関する課題や問題点」について全国でも初の試みとなる「公開討論形式」でのグループワークを行いました。

その結果から中・高生たちがルールを作り「INAGAWAスマホサミット宣言」を行いました。また、「ここだけで終わらせるのではなく、今後、町内の中高生に広げていきたい。小学生に教えに行きたい」と思いをまとめました。



消防出初式で訓練の成果を披露

▼1月12日、文化体育館と総合公園で平成26年消防出初式が開催されました。消防職員・団員など376人、消防車両40台のほか、今年はイナショー45「炎」も参加し、救助活動の模範演技や一斉放水などを行い、今年の防火・防災の誓いを新たにしました。

